

競技は例年のとお
地区一別対抗（鷹巣北 鷹巣南



第十二回内婦人バレー大会は八月四日、農林高校体育館で開かれ、参加チームはA、B、C、Dとも各七チーム。熱戦の結果、Aはロケット線子Bプロジェクト七チームが別年引続き勝ちました。対戦成績は次のとおり。

佐藤 テイ

つくり、広告し、社会の心理的耐久性をさようしているわけです。

このようにうまい宣伝にのせられて、私たち消費者は買い物をするに費りますが、買い物じょうずにするために、すぐれた品質をみきわめる正しい知識をもっていたくことです。たしかな機能、適正な

がら反面、人と同じものを
少しでも安く買いたい、ま
たは買ったという見栄や弱
点があります。

この弱点を一部の生産者
と販売者がたくみに利用し
て、全店特売・大華仕の宣伝を
やり、特売用の安くつくら
れた品のひとつを安く亭く
ってほかの品物への連鎖反
応を目的とした「特売会」

すること▽消費者保護に關すること—など社会経済の発展に伴ない消費者を保護し地方行政は、その地域での実情に應じて消費者を保護しようというのが、私たちが消費者自身も自主的かつ行動的に经济社会の発展に即応し、自らを守る消費者としてたちあがらなければならないと痛感しました。

ということです。

これをうまく切り抜けるためには、消費者ひとりひとりが自然のいろりあまきりか自然のいろりのろのろを添加物を購入しないよう心がけたいものです。

また、食品とはかぎらずほかの商品でも企業家は買物の心理と研究し、流行り

価格、消費者保護の万全な表示、これらの知識を十分に知っていると同時に、広告のうみにしないという自分の心にひとりの免役をつくる努力をしたいものです。

に足を運び、結局高い買い物をしにり必要でない品物にまで手をだし、全く弱立場におかれているのが消費者であります。

そこで、国では消費者を保護しようとして消費者は保護基本法を設定し安全衛生に關すること▽価格の適正に關すること▽中古車に關

幅跳び▼壮年同

一◇予戦リ、グ

優勝
ハレーボー
る

▽Aブロック
切沢2-10 鷹巣
2-10 栄
七座2-10 沢口
鷹巣2-10 栄
七日市2-10 沢口
▽Bブロック
口2-11 竜森
葛黒2-11 鷹巣
綴子2-10 栄

子と
養成

第5回全子
5日、6日の両
子とも会代者
は116の子とも
町ては昭和39年
のものである。

「寫真は明る

ごみの
＝月

検討し、毎週実施地
場、南蔵集、舟場
田中、新田中」は運
を短縮し、さらに
やし八月十九日から
ス通ることになりま
隔週実施地区は距離
でいいますと同じで
沢口地区川口が収集
入れて八月二十七日
施します。

なお、九月から毎
あきカンビン類な
期的に収集するこ
しましたので、収集場
区のごみポイを投入
区分けしてお出しくだ

会社、工場、商店

事業
とわ
れど、
所燃
たに
たり
お定
ま回
万回
から
実
が、
感に
で、
た
た
し
ハ
ビ
間
損
折
を
果
す
る
に
必
ず
い
ま
あ
ら
う
と
思
ひ
ま
さ
に
な
り
ま
し
た
。　

子
一軒
二軒
三軒
四軒
五軒
六軒
七軒
八軒
九軒
十軒
十一軒
十二軒
十三軒
十四軒
十五軒
十六軒
十七軒
十八軒
十九軒
二十軒
二十一軒
二十二軒
二十三軒
二十四軒
二十五軒
二十六軒
二十七軒
二十八軒
二十九軒
三十軒
三十一軒
三十二軒
三十三軒
三十四軒
三十五軒
三十六軒
三十七軒
三十八軒
三十九軒
四十軒
四十一軒
四十二軒
四十三軒
四十四軒
四十五軒
四十六軒
四十七軒
四十八軒
四十九軒
五十軒
五十一軒
五十二軒
五十三軒
五十四軒
五十五軒
五十六軒
五十七軒
五十八軒
五十九軒
六十軒
六十一軒
六十二軒
六十三軒
六十四軒
六十五軒
六十六軒
六十七軒
六十八軒
六十九軒
七十軒
七十一軒
七十二軒
七十三軒
七十四軒
七十五軒
七十六軒
七十七軒
七十八軒
七十九軒
八十軒
八十一軒
八十二軒
八十三軒
八十四軒
八十五軒
八十六軒
八十七軒
八十八軒
八十九軒
九十軒
九十一軒
九十二軒
九十三軒
九十四軒
九十五軒
九十六軒
九十七軒
九十八軒
九十九軒
百軒

八月二十三日
十日までの
日八時三十の

山形俊子同
米村キヨ子
▽社会福祉
（七日）保育
シ（九月）育
力一部（南保
▽社会福祉
若者佐藤後
上野二舟場
（大栗大可）

児童事業試
参観デー
秋田県児
は次により
行ないます
△とき

[illegible]

成田四
務員▽相
弁護士
渠○主
慶渠
略

協助員
三氏

年少者の
かるため
適用を受
術者や使
位や一般
上をはか
こをして
ます。こ
牛室協助
をうけて
ヨさん
）です。
は、地域
式のかた

ども会リダー養成講習会は8月
日、綴子会民館を会場に134名の
が参加して行なわれました。これ
会が自主的に活動できるようにと、
から毎年夏休を利用して行なっ
て

く元気いっぱいに関講式から}

の定時収集を改正
きカン、ビン類も
一回収集します＝

佐藤俊
らを表
北秋
研大
児童福祉法
周年記念一
度北秋田社会
大会」は八月
町で開催さ
係で次の方
ました。

信氏 催しますが奥北
八月二十七日午
三十分から午後
で鷹巣町公民館
に知事はじま
長が出席しま
なお、町内の
ニターは次の
伊藤清一（沢
業▽五代銭不
渠▽同▽津谷

北地区は
前十時
三時ま
品を会場
係部課
政モ
方々で
口)＝農
二男(鷹
榮七(鷹

Bブロック鷹巣対竜森チームのもよう

ごみについては有料とな
ていますが、あらかじめ
清掃係に連絡し、燃え
ごみは焼却場へ、燃え
ごみは指定埋め立て地
(紙沢)に運んでくださ
い。

改正した清掃車運行計
表は関係町内協力員を
して配布しますので、よ
しご覧のうえご協力く
ださい。

さうお画 張いの役 々々

知らせ

▽行事

①試験場展 ②農事相談 ③農産資料 ④全国優良 械実演展示

れます。

なお、秋 場まで臨時 番しより二 道四十、

県北地区 二ター大 鷹巣町

果では果 声を反映さ 各市町村に タル」を委 ます。モニタ 聞かれた果

[illegible]

リ、みな
をお待ち
八号)二
すか1町
備中、四
云のうち
云(長岐
が脱走
ので、追
を實施
伝染性貧
二月二十八
ないます
した日程
横くださ

なほ、九月から毎月一回あきカン、ビン類なども定期的に収集することになりましたので、収集場所に燃えるごみ(ポリ容器入れ)と区分してお出してください。

会社、工場、商店、事業場など業務上多量に出るごみ、一時的に多量に出る

お知らせ

県農事試験観デー
秋田県農事試験観デー
は次により参観デー
行ないます。

▽とき
八月二十日
十日までの二
日八時三十
時

八日から三
 二日間(毎
 分)十五
 から要望や苦
 の問題点、住
 二階堂さん
 (鷹巣・東旭
 いる二階堂キ
 員として委嘱
 れは異婦人少
 いる人がおり
 るなどのしこ
 婦人の地位向
 用人の保護補
 人の地位で

位や一般
上をはか
こをして
ます。こ
牛室協助
をうけて
ヨさん
(です。
は、地域
氏のかた
南の相談

検討し、毎週末実施地区（鷹巣、南鳳巢、舟場、掛泥、田中、新田中）は運行時間を短縮し、さらに回数をやし八月十九日からサービスすることになりました。隔週末実施地区は距離の関係で、いままでと同じですが、

山形俊子(同
鷹巣保育園
(七日市保育
シ鷹巣南保
力一郎(陽清
▽社会福祉
労働者佐藤俊
上トミ(舟場
(鷹巣大町
子)

敬称略	宮藤栄子 伊藤恵子 園村上ト 育園三沢 学園	馬津一(廣良)事 良一(廣良)事 △奈良幸恵(寛 福△神成為治) 無職	婦人少年室按 に二階堂キコ	婦人及働くは 保護福祉を以 労働基準法の ない家族労働
-----	------------------------------------	---	------------------	--------------------------------------

協助員
 三氏
 少年者の
 かるため
 適用を受
 用者や使

みの定時収集を改正
＝あきカン、ビン類も
月一回収集します＝

お知らせ

佐藤俊
らを表
北秋
研大

児童福祉法
周年記念一
度北秋田社会
大会は八月日
町で開催され
係で次の方が
ました。

▽社会福祉協
米沢キヨ(愛

催しますが奥北
八月二十七日午
三十分から午後
五時鷹巣町公民館
に知事はじめ町
長が出席します
なお、町内の有
名士は次の
ニ。
▽伊藤清一（沢
業）▽五代鏡不
果）▽同▽津谷
果）▽建設業（

北地区は
前十時
三時ま
品を会場
係部課
政モ
方々で
口)＝農
二男(鷹
栄七(鷹
成田四
員7目